

編 輯 後 記

◆聖戦下！輝かしき皇紀二千六百年を迎え、爰に謹んで會員諸氏の御健勝を祈り更に、本年は一倍の御奮闘を切に御願ひす。

此の榮光ある年頭！友邦日本に於ては、聖戦實に四ヶ年曠古未曾有の難局を處理すべく阿部内閣に換り米内内閣生る。

◆かゝる秋！ 吾等は各自の本分即ち東亞新秩序の使命を全うすることこそ、此の聖代に生きる者の使命であり、理想であり、感激であらねばならぬ。

本誌も、重大なる難局を自覺して、計畫に設計に、將又施工に、會員諸氏の研究に寄與致し度、念願を更に強くす。

◆先づ、卷頭に坂田會長の「年頭の言」は吾等の進むべき道を指示され、原田氏の「凍土の

溫度及濕度が耐荷力に及ぼす影響」は設計上に、又研究上に、得難き好資料と自負するものにして、山崎氏の「タールマカダム舗装の施工に就て」は道路建設も新段階に入り、正に、舗装時代に入らんとするの時、絶好の參考資料と信ぜられる、次いで関氏の「柳河流量測量に伴ふ河床の變化に就いて」は河川調査に従事する者に對し測量の心得として必讀されるものと思ふ、此の外、坂田會長を中心とする蒙疆視察座談會及、八十八谷氏の北邊振興河川事業の概貌は誠に興味ある報告として、本誌の眞面目を發揮せられたものにして、編輯子一同感謝の意を表す。

年頭に當り、更に倍舊の御指導、御鞭撻の程御願ひする次第なり。

康徳7年1月1日印刷 康徳7年1月1日發行〔非賣品〕

發行者	新京特別市惠民路第一代用官舎27號	米田正文
編輯者	新京市順天區第五代用官舎一〇四號	寺師虎之助
印刷者	新京中央通四八番地	村上慶助
印刷所	新京中央通四八番地	世界堂印刷工廠

新京特別市順天大街 交通部道路司内

發行所 滿洲土木研究會

振替口座番號新京1141番

◆ 本會販賣圖書 ◆

滿洲土木研究會編

橋梁設計圖例集

四六倍版 1,00餘枚

正價 2圓60錢「送料共」

本設計圖は内務省第2種荷重に準じて設計せるものにして材料表及應力表を附す内容目次を示せば下記の通り

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 鐵筋コンクリート床版橋 | 長 1.5米—6米、有効巾員 4.5米—6米 |
| 2. T形鐵筋コンクリート橋 | 橋長 7米—14米、有効巾員 4.5米 |
| 3. 同 | 橋長 7米—14米、有効巾員 6米 |
| 4. I形鋼桁橋 | 橋長 7米—12米、有効巾員 4.5米 |
| 5. 同 | 橋長 7米—12米、 |
| 6. 各種橋台橋脚 | |
| 7. 鐵筋コンクリート杭 | 長 3.6米—14米 |

ロシア土木工學の研究

南滿工專教授 原田千三著

定價 ¥ 2.00

内容目次

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 凍結土並に永久凍土層内に於ける路盤の凍上と其の改良法 | 10. 冬期給水網を間斷なく正確に操毀する方法及給水に必要な充分な水量を水源より確保する方法 |
| 2. 永久凍土層概論 | 11. 舊東支鐵道に於ける軌條毀損に對する氣温の影響に就て |
| 3. 永久凍土層賦存地域に於ける水源に就て | 12. 酷寒の鐵道建造物、輪轉材料及作業に及ぼす影響 |
| 4. アムール鐵道に於て凍結土内に給水管を敷設したる實驗報告 | 13. ソ聯邦・鐵道橋下部構・設計示方書 |
| 5. 凍結土並に永久凍土層の掘鑿法 | 14. 鐵道の水上渡河法 |
| 6. 永久凍土層内の基礎建造法 | 15. ソ聯邦各鐵道の橋梁設計に用ひたる標準列車荷重 |
| 7. 永久凍土層内の構造物 | |
| 8. 氷上滲出水に就て | |
| 9. 防雪林に就て | |

◆ 本會販賣圖書 ◆

第4回土木講習會講演集

定價 1.20 (但し會員に限り ¥ 1.00)

内 容 目 次

講習會寫眞	
交通部大臣祝辭.....	交通部大臣 李 紹 庚
祝 辭.....	産業部大臣 呂 榮 宣
祝 辭.....	副 市 長 關 屋 梯 藏
1. 都 邑 計 畫.....	内 務 局 沼 田 征 矢 雄
2. 堰堤コンクリートの施工.....	水力電気建設局 空 閑 徳 平
3. 地質學上より見たる滿洲の濕地及其他の對策.....	滿蒙調査部 新 帶 國 太 郎
4. 河 川 法.....	交 通 部 矢 野 道
5. 滿洲の氣象に就て.....	中央氣象臺 土 佐 林 忠 夫
6. 日本の河川工事に就いて.....	内 務 省 鷲 尾 蟄 龍
7. 滿洲に於ける道路の施工.....	奉 天 省 種 谷 實
8. 新京の上下水道概要.....	新京特別市公署 重 住 文 男
9. 朝鮮の砂防事業.....	朝鮮府總督 兩 見 正 雄

第3回土木講習會講演集

四六倍判210餘頁 定價 1.20 (但し會員に限り ¥ 1.00)

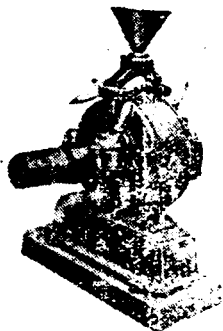
内 容 目 次

1. 開會之挨拶.....	理 事 坂 田 昌 亮
2. 遼河改修計畫.....	交 通 部 原 口 忠 次 郎
3. 道路の構造物の凍害に就て.....	交 通 部 米 田 正 文
4. 河川の基本調査に就て.....	交 通 部 照 井 隆 三 郎
5. 塞中コンクリートの現勢.....	土 建 協 會 眞 鍋 簡 好
6. 河 川 の 氷 害.....	交 通 部 橋 内 徳 治
7. 朝 鮮 の 河 川.....	朝 鮮 總 督 府 川 澤 章 明
8. 最近のメントの趨勢に就いて.....	小野田セメント鞍山工場長 西 脇 寛
9. 土木工事に用滿洲産木材に就いて.....	滿鐵々道研究所 布 施 忠 司

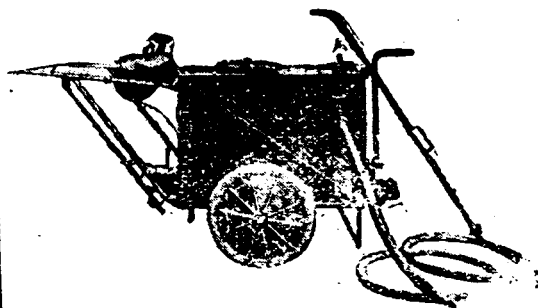
田中の舗装機械

東京 田中土木機製作所 京橋

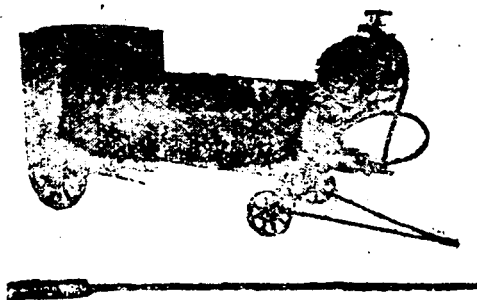
田中式乳劑製造機



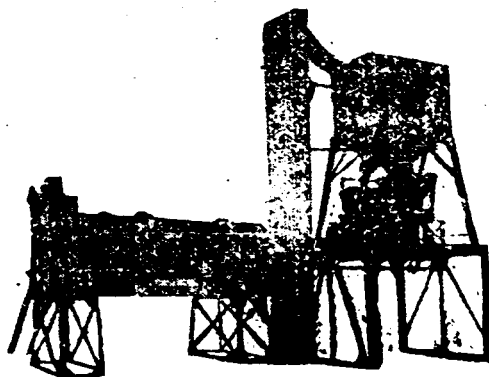
田中式^{アスファルト}瀝青乳撒劑布機



田中式アスファルト手練プラント



田中式アスファルトプラント



鮮滿代理店

淺野物産株式會社

新京支店	滿洲國新京海上ビル	電話	②6160-6161
大連支店	大連市山縣通二番地東拓ビル	電話本局	3525
奉天出張所	滿洲國奉天加茂町一四番地	電話	②4628
哈爾濱出張所	滿洲國哈爾濱道裡南包街二號	電話	4785
朝鮮出張所	朝鮮京城驛前片倉館	電話本局	6872

製造元

田中土木機製作所

東京市京橋區京橋三丁目五番地（京橋際）